

					至自
			11 10 9 8		7 7
			3 29 24 25		18 12
<p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。</p> <p>咸興において武装解除。</p> <p>興南に移動。</p> <p>興南出發。</p> <p>入「ソ」。</p> <p>旅団長 少将 長島 勲</p>					

												昭和 17	年 月 日														
														略	歴												
													8	7	7	7	7	5	4	12	10	8	7	4	4	2	独立歩兵第一〇九大隊略歴 通称号 衣第三〇四〇部隊
													4	18	16	14	12	28	25	11	29	12	27	10	1	2	
														摘 要													

	至自至自	
	10 10 10 10	8
	11 4 7 2	22
大隊長 大佐 坪井正佐	入「ソ」(ナホトカ)。 與南出發。 作業大隊編成與南に移動。 五老里にて武装解除。	

至自至自	
11 10 10 10 10 8 8	7 7
2 7 28 5 8 26 22	中旬
<p>大隊長 少佐 植野利重</p> <p>入「ソ」(「ウラジオ」「ボセット」)</p> <p>興南出發。</p> <p>興南着。</p> <p>富坪において作業大隊編成。</p> <p>咸興において武装解除。</p> <p>同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>鮮清国境安東通過。</p>	

至 自		昭 昭		至 自 至 自		昭		年 月 日	略 歴	独 立 歩 兵 第 一 一 一 大 隊 略 歴 通称号 衣第三〇四二部隊																	
		20	19	12	11	11	10				4	4	2														
7	7	7	7	6	5	2	12	11	11	10	4	4	2														
中旬	中旬	上旬	上旬	上旬	14	23	29	22	17	11	27	10	1	2													
朝鮮咸鏡南道咸興着。		鮮満国境安東通過。		満支国境山海関通過。		済南出發。		移駐のため済南集結。		動員完結一部を歩兵第三五八連隊に転出。		軍令陸甲第八四号により臨時動員下令。		徳県に移駐、同日より同地付近の警備。		第三次魯東作戦参加。		魯中魯南対国共作戦参加。		同日より同地付近の警備。		山東省泰安において編成完結。		編成着手。		軍令陸甲第八号により臨時編成下令。	
										摘 要																	

至自至自

10 10 10 10 10 8 8

14 7 10 4 3 23 22

同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。

五老里において武装解除。

作業大隊編成。

興南着。

興南出発。

入「ソ」(ウラジオストック)

大隊長 大尉 勢田勝利

昭	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	昭	年 月 日	第五九一師団工兵隊略歴	通称号 衣第四二九八部隊				
17	19	20	11	3	6	3	7	7	7	7	7	7	7	8	4				3	2		
2	2	2	上旬	上旬	上旬	上旬	中旬	中旬	中旬	下旬	下旬	中旬	中旬	8	26				2			
<p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。 編成着手。</p> <p>山東省済南において独立混成第一〇旅団工兵隊を基幹として編成完結。 同日より同地付近の警備ならびに作戦参加。</p> <p>河南作戦参加。</p> <p>秀岑作戦参加。</p> <p>移駐のため済南出發。</p> <p>満支国境山海関、鮮満国境安東通過。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着</p> <p>同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。</p> <p>咸興において武装解除。</p> <p>作業大隊編成。</p> <p>興南出發。</p>																	略	歴	摘 要			

876の2

自
昭
21

10

17

入「ソ」(「ウラジオストック」「ソフガワニ」)等。
隊長 少佐 桑原 実

1060

昭 21	自 19	至 8	自 8	至 8	自 7	至 7	自 7	至 7	自 7	至 5	昭 20	自 11	至 8	昭 2	年 月 日	第五九師団通信隊略歴 通称号 衣第四二九九部隊	
13	23	26	24	21	下旬	中旬	下旬	上旬	中旬	上旬	5	11	8	4	3		2
<p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。 編成着手。</p> <p>済南において独立混成第一〇旅団通信隊を基幹として編成完結。 同日より同地付近の警備ならびに通信作業。</p> <p>山東作戦参加。</p> <p>秀岑作戦参加。</p> <p>移駐のため済南出発。</p> <p>満支国境山海関、鮮満国境安東通過。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>爾後同地付近の警備ならびに通信作業。</p> <p>咸興において武装解除。</p> <p>興上里に収容され作業大隊編成。</p> <p>興南港出発。</p>															摘 要		

1061

	至自 昭 21
	1 9
	14 27
隊長 少佐 小池 忠太郎	入「ソ」(「ウラジオストツク」「ボセツト」等)

第五九師団迫撃砲隊略歴																		
通称号 衣第一四九六部隊																		
年 月 日																		
略 歴																		
摘 要																		
昭 17	2	26	8	4	3	5	2	3	昭 18	21	1	3	7	7	7	7	8	23
<p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。 編成着手。</p> <p>山東省德県において独立混成第一〇旅団を基幹として編成完結。 同日より同地付近において警備ならびに討伐参加。</p> <p>臨清に移駐。</p> <p>済南に移駐。</p> <p>軍令陸甲第一八号により編成改正下令。</p> <p>歴城界白馬山において編成改正完結。</p> <p>移駐のため白馬山出発。</p> <p>満支国境山海関通過。</p> <p>鮮満国境安東通過。</p> <p>朝鮮咸鏡南道富坪着。</p> <p>同日より同地付近の陣地構築。</p> <p>本官において武装解除。</p>																		

		至自		至自	
		12	12	10	9
		9	9	9	8
		31	23	2	26
		23	10	2	28
		同日咸興に移動。			
		興南に集結。			
		作業大隊編成。			
		主力興南港出發。			
		主力入「ソ」(「ウラジオストック」「ボセツト」等。			
		一部興南港出發。			
		一部入「ソ」(「ウラジオストック」)			
隊長	大尉	芳	信	雅	之

										第五九一師団輜重隊略歴						
										通称号 衣第二三五四部隊						
										略歴						
										摘要						
至	自	至	自	至	自	昭	至	自	昭	昭	昭	年				
						20			19	18	17					
7	7	7	7	7	7	3	2	12	8	4	8	7	4	3	2	月
24	12	22	10	20	9	12	1	8	1				8	26	2	日
<p>鮮満国境安東通過。</p> <p>滿支国境山海関通過。</p> <p>移駐のため濟南出發。</p> <p>移駐のため泰安出發。同日濟南着。</p> <p>軍令陸甲第一八号により独立齎備歩兵大隊編成要員転出。</p> <p>山東作戦、秀岑作戦参加。</p> <p>河南作戦参加。</p> <p>山西省大行作戦参加。</p> <p>東平湖作戦参加。</p> <p>同日より同地付近の警備ならびに作戦参加。</p> <p>山東省泰安において独立混成第一〇旅団輜重隊を基幹として編成完結。</p> <p>編成着手。</p> <p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。</p>																

1065

至自	至自	至自	至自	至自	至自
				11 9 10 9 10 9	8 7 7
				2 27 29 23	23 26 14
				上下旬	
				入「ソ」(ウラジオストツク)「ボセツト」等。	朝鮮咸鏡南道咸興着。
				與南港出發。	爾後同地付近の警備および陣地構築。
				與南に移動。	咸興、本官等にて武装解除。
					作業大隊編成。
				隊長 少佐 野口 政喜	

至自		至自		至自		至自		自昭		自昭		昭		年 月 日	第五九師団野戦病院略歴	通称号 衣第三三一部隊	
								20		19		17					
7	7	7	7	7	7	2	9	8	7	3	4	3	2				
下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	上旬	3	1	12	12	末	29	6	26	2	略 歴	摘要	
<p>同日より同地において病院勤務。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>満支国境山海関、鮮満国境安東通過。</p> <p>移駐のため泰安出發。</p> <p>第二次河南作戦参加。</p> <p>衣剝支第一一号山東作戦参加。</p> <p>第一次河南作戦参加。</p> <p>同日より山東省泰安付近において病院勤務。</p> <p>独立混成第一〇旅団を基幹として編成完結。</p> <p>編成着手。</p> <p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。</p>																	

	9	9	9	8
	27	24	17	20
<p>威巽において武装解除。</p> <p>主力與南において作業大隊編成。</p> <p>主力與南港出發。</p> <p>主力入「ソ」(ウラジオストック)。</p> <p>一部は定平、與南等の収容所において医療に従事し昭和二十一年七月上旬頃までに入「ソ」。</p> <p>病院長 軍医少佐 渡 辺 俊 男</p>				

				昭 昭			昭	昭	年 月 日	略 歴	第五九師団病馬廠略歴 通称号 衣第四二九七部隊
				20	19		18	17			
7	7	7	7	5	10	6	3	4			
18	17	16	12				21	8	26	2	
同日より同地付近の陣地構築。											
朝鮮咸鏡南道咸興着。											
鮮満国境安東通過。											
満支国境山海関通過。											
移駐のため主力は済南出発。											
秀岑作戦参加。											
魯東作戦参加。											
萊蕪作戦参加。											
同日より同地において勤務。											
済南に移駐。											
同日より同地において勤務。											
泰安において独立混成第一〇旅団を基幹として編成完結。											
編成着手。											
軍令陸甲第八号により臨時編成下令。											
摘要											

1069

	9	9	9	8
	27	24	17	22
<p>廠長 中尉 横山 乾</p> <p>一部は同年十一月初旬までに入「ソ」。</p> <p>主力入「ソ」(ウラジオストック)。</p> <p>主力興南港出發。</p> <p>興南において作業大隊編成。</p> <p>威興において武装解除。</p>				

独立混成第一三三旅団司令部略歴										
通称号 福寿第三七五三四部隊										
略歴										
昭	20	年月日								
	7	7	7	9	9	8	8	8	8	7
	10	31	12	15	19	23	3	6	10	12
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。 第四四軍よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。 旅団は朝鮮元山地区警備のため転進準備中。 八月九日「ソ」開戦にともない新京地区の防衛を命ぜらる。 新京着、南岑地区の防衛に従事。 停戦。 新京出発。 吉林省公主岑着。 同地において武装解除。 同地において作業第三大隊編入。 公主岑出発。 黒河出発入「ソ」。</p>										
旅団長 少将 原田繁吉										
摘要										

1071

独立歩兵第七八七大隊略歴											
通称号 福寿第三七五三五部隊											
昭	年	月	日	略歴							摘要
20	7	7	10	軍令陸甲第一〇六号により編成下令。							大隊長 大尉 石田鉄治
			31	第一一九師団、第一二六師団等よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。							
			9	朝鮮転進準備中日「ソ」開戦となり四平出發。							
			11	新京着、陣地構築中終戦となる。							
			17	在満応召者召集解除。							
			19	新京出發。							
			21	吉林省公主岑着。							
			25	同地において武装解除。							
			5	公主嶺作業第三大隊編入。							
			6	公主岑出發。							
			12	黒河經由入「ソ」。							

1072

		昭 20		年 月 日							
		12	10	10	8	8	8	8	8	7	7
		5	5	3	25	21	19	17	13	11	31 10
<p>大隊長 大尉 吉米地 諫次郎</p>		<p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>公主岑出發。</p> <p>公主岑において作業第三大隊編入。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>吉林省四平着。</p> <p>新京出發。</p> <p>在満応召者約一四〇名を召集解除。</p> <p>新京着、陣地構築中終戦となる。</p> <p>朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。</p> <p>第一一七師団、第一二六師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p>									
		<p>略 歴</p>									
		<p>摘要</p>									

独立歩兵第七八八大隊略歴

通称号 福寿第三七五三六部隊

昭和20年										独立歩兵第七八九大隊略歴 通称号 福慈第三七五三七部隊	
10		9		8		8		7			年月日
26	22	15	26	21	18	12	11	31	10		
<p>略歴</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。 第一二六師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成 完結。 部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。 新京着、陣地構築中終戦となる。 新京出發。 吉林省陶家屯において武装解除。 吉林省公主峯着。 この間在満応召者の一部召集解除。 公主峯において作業第四大隊編入。 公主峯出發。 黒河經由入「ソ」。</p>											
<p>大隊長 大尉 加藤 兆</p>											
										摘要	

1074

							昭 20		年 月 日	独立歩兵第七九〇大隊略歴 通称号 福寿第三七五三八部隊
							7	7		
10	9	8	8	8	8	8	7	7		
	中旬	下旬	19	18	12	11	31	10		
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。 第一一九師団、第一二三師団等よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。 部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。 新京着、南岑付近において陣地構築中終戦となる。 新京出發。 吉林省公主岑着。 同地において武装解除。 この間在満応召者の一部召集解除。 同地において作業第四大隊編入。 黒河經由入「ソ」。</p> <p>大隊長 大尉 永田 英夫</p>										
									略	歴
									摘	要

1075

昭和20年		略歴	摘要
年	月		
日	日		
10	7	7	軍令陸甲第一〇六号により編成下令。
9	8	8	第一一七師団、第一一九師団等よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。
9	8	8	部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。
8	8	8	新京着、南岑付近において陣地構築中終戦となる。
8	8	8	新京出發。
8	8	8	吉林省公主岑着。
8	8	8	同地において武装解除。
8	8	8	この間在満応召者の一部召集解除。
9	9	9	公主岑において作業第四大隊編入。
9	9	9	公主岑出發。
10	9	9	黒河經由入「ソ」。
10	9	9	黒河經由入「ソ」。

大隊長 大尉 木戸常男

独立混成第一三三旅団挺進大隊略歴
通称号 福寿第三七五三九部隊

1076

										昭	年 月 日	略 歴	通称号 福寿第三七五四〇部隊 独立混成第一三三旅団砲兵隊略歴	
										20				
10	9	9	8	8	8	8	8	7	7	日				
26	23	22	25	21	18	12	10	31	10					
隊長 中尉 小池 房雄										軍令陸甲第一〇六号により編成下令。 第一二二師団、第一二三師団、第一二七師団等よりの基幹要員と在満応召者を もつて吉林省四平において編成完結。 部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。 新京着南岑付近において陣地構築中終戦となる。 新京出發。 吉林省公主岑着。 同地において武装解除。 この間在満応召者の一部召集解除。 公主岑において作業第四大隊編入。 公主岑出發。 黒河經由入「ソ」。			摘要	

1077

昭 20										年 月 日	略 歴	摘 要
1	9	9	8	8	8	8	7	7	7			
26	23	22	下旬	18	12	11	31	10				
<p>隊長 大尉 太田虎一</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>公主岑出発。</p> <p>同地において公主嶺作業第四大隊編入。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>新京出発吉林省公主岑着。</p> <p>新京着南岑付近において陣地構築中終戦となる。</p> <p>部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出発。</p> <p>完結。</p> <p>第一二六師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p>												

独立混成第一二三旅団工兵隊略歴

通称号 福寿第三七五四一部隊

略歴

摘要

1078

										昭	年										
										20											
										7	月										
										7	日										
										12	10	9	8	8	8	8	7	7			
										5	6	5	22	20	18	13	30	10			
<p>隊長 中尉 大 濃 輝 芳</p>										<p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>公主嶺出發。</p> <p>公主嶺作業大隊編入。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>吉林省公主嶺着。</p> <p>新京出發。</p> <p>部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため、新京着、開拓局において通信任務に従事。</p> <p>新京出發。</p> <p>吉林省公主嶺着。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>公主嶺作業大隊編入。</p> <p>公主嶺出發。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p>										<p>独立混成第一三三旅団通信隊略歴</p> <p>通称号 福寿第三七五四二部隊</p>	
										<p>略 歴</p>										<p>摘 要</p>	

昭和20年		略	歴	摘要
月	日			
7	7			
7	31			軍令陸甲第一〇六号により編成下令。
8	11			第一一七師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成 完結。
8	13			部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。
8	18			新京着、建國大学にて防衛中終戦となる。
8	20			新京出發。
8	25			吉林省公主峯着。
10	5			公主峯において武装解除。
10	5			この間在満応召者の一部召集解除。
10	6			公主嶺作業第三大隊編入。
12	5			公主峯出發。
				黒河經由入「ソ」。
				隊長 大尉 佐藤 実次

独立混成第一三三旅団輜重隊略歴

通称号 福寿第三七五四部隊

至自至自		至自至自						昭	年 月 日	第三四軍司令部略歴 通称号 展第一八〇〇部隊	
		20						19			
10	10	9	8	8	8	7	7	6			6
29	25	10	7	30	23	15	中旬	上旬	下旬	中旬	24
<p>昭和十九年第一軍司令部を基幹として軍隊区分により漢口防衛軍司令部を編成し漢口地区の防衛に任じていた。</p> <p>漢口において漢口防衛軍司令部を第三四軍司令部に改編、編成完結。</p> <p>同日より同地付近の警備。</p> <p>移駐のため漢口出発。</p> <p>満支国境山海関、鮮満国境安東通過。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。</p> <p>停戦。</p> <p>咸興において武装解除。</p> <p>将校は定平、下士官兵は興上里に收容されたが九月初旬興南に移動。</p> <p>司令官は飛行機にて入「ソ」。</p> <p>興南にて作業大隊編成。</p> <p>興南港出発。</p>											
										略 歴	
										摘 要	

1081

855の2

至自

11 10

2 28

入「ソム」。「ウラジオストク」「ポセツト」等

司令官 初代 中将 佐野 忠 義

二代 中将 楠淵 鐘 一

1082